

税金の使い道を知ろう！

えざきこうたろう
江崎光太郎
(しがく総合研究所)

1. 「税金が足りない」から増税

(1) 失われた30年

日本経済は近年、長期不況により「失われた30年」と言われている。30年間も経済停滞が続く異常事態の日本では、経済苦による自殺者は1年間で約3,000人にのぼっている。この長期停滞の主な原因がデフレである。デフレは、日本社会にとって悪影響しかない。

企業は、不況のため値下げをしないと商品が売れず、業績も上向かないため、給料を上げられない。給料が上がらないため、消費者が節約をするので、更に商品の値下げをすることで、更にデフレが深刻化する悪循環に陥る。

(2) アベノミクスを無力化した増税

この悪循環を断ち切るために、第二次安倍政権では公約に「デフレからの脱却」を掲げた。日銀総裁の黒田東彦による強力な金融緩和は、株価上昇、完全失業者数の低下等の効

果を上げた。消費者心理も上向きかけたが、政府は社会保障費のために「税金が足りない」とし、増税を行った。国民の財布の紐は再び固くなり、デフレ脱却は頓挫してしまった。

(3) 増える国民負担率

長年にわたるデフレで国民の給料は増加しない一方で、税負担は年々増加し、国民負担率は、2020年で約48%に達した。最近では、ウクライナ侵攻による資源価格の高騰が呼び水となり、マイルドインフレ的傾向が見られているが、進む少子高齢化社会への対応や、防衛体制を強化するために、日本政府は更なる消費税率の引き上げ等の増税を検討している。このまま国民負担率が上がり続ければ、国民の可処分所得は減り、日本経済は冷え込む。再びデフレに突入する恐れもある。

2. 日本は本当に「税金が足りない？」

(1) 地方自治体のお金の使い道を示す行政評価報告書

それでは日本は本当に「税金が足りない」のだろうか。それを知るには「行政評価報告書」がオススメだ。国家予算の内、約4割は地方自治体で使用されており、行政評価報告書はその使い道を示している。

(2) 使い道を示さない地方自治体

2016年度総務省のデータによると、市区町村を含めると、行政評価報告書を出している割合は約4割。6割近くは、非開示となっている。

また開示をしていたとしても、実体が見えない事例もある。一例として千葉市を取

り上げる。千葉市は6つの区から成り立っており、各区で主要事業戦略シートとして、活動内容を公開している。驚くことに、その内容を見ると、5つの区で記載されている内容は、区役所庁舎管理のみであり、唯一複数記載があった中央区も、地域活性化支援と中央区ふるさとまつりの2つであった。『主要』事務戦略を記載するのにも関わらず、活動内容が庁舎管理では、何もやっていない、との誹りは免れないだろう。

政府は税金が「足りない」としているが、果たしてそうなのか、国民は判別することが出来ない状況だ。税金の使われ方が明確になつて初めて、税金が本当に足りないのか、否かの議論をすべきである。

(3) 意味不明な使い方

税金の使い方 を明確にしても、注視す

いる。このように、我々の知らぬ間に、本当に必要かどうかの客観的なチェックも行われず、活動団体にお金が行っているケースもあるのだ。

3. 行政評価報告書に注目を

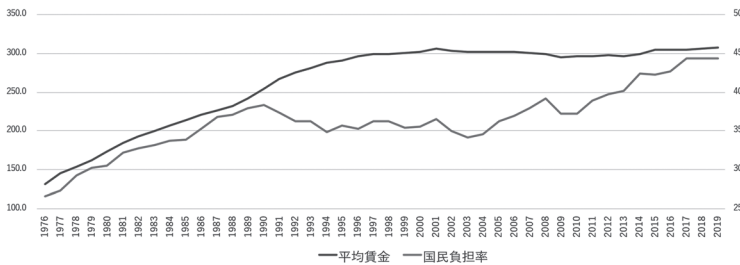
「税金が足りない」との認識の元、日本政府は「増税」をし、結果、日本経済は冷え込んできた。しかし、地方自治体の税金の使い方を示す行政評価報告書を見ると、税金が適切に使われていない地域やそもそも使途を開示していない地域も多い。本当に税金は「足りない」のか。地方自治体に使い道の開示を求めることや、行政評価報告書を読み、本当に必要なかを問うことが「増税」を行うよりも先である。

ることで気が付くことがある。例えば府中市の行政評価報告書の中に「人権啓発事業」がある。主な活動内容は「人権の花運動」であり、花を育てることで、人権意識を醸成するというものだ。何故、人権意識と花を育てることが関係するのか、不思議な感じもするが、読者の皆様はどのように思われるだろうか。

指標の分析では、数値の比較や推移で評価することが馴染まないため、成果目標の設定は行わないとしているにも関わらず、事業の位置付けとしては、市民の人権尊重思想の啓発を図るために必要な事業としている。要は効果の検証はしないが、「必要」な事業として位置付けているのだ。

そして、本予算約56万円のうち、人権の花運動に必要な種や培養土は約3万円、残りは多摩東人権委員会の活動資金として流れて

国民負担率と平均賃金の推移



※右目盛りが平均賃金（単位：万円）、左目盛りが国民負担率（単位：%）を示す

財務省の国民負担率の推移 (sy202202a.pdf (mof.go.jp)) と厚生労働省の賃金構造基本統計調査 (https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2020/index.html) より作成

